

「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」検討会1

大学が中心となった女性の学びと キャリア形成支援

全国女性会館協議会

2020年2月17日

2018年度の取組「女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組みづくりに関するモデルを構築するための実証事業」をヒアリング

大学が中心となった女性の学びとキャリア形成支援

- 学校法人日本女子大学
「リカレント教育課程」

<https://women-manabi.com/h30/cases/tokyo/>

- 国立大学法人富山大学
「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」

<https://women-manabi.com/h30/cases/toyama/>

2019年度事業 検討会の実施

		開催日	内容
検討会	第1回	8月1日	事業の目的共有、プログラム類型等についての意見交換
	第2回	10月4日	ゲストスピーカー報告、意見交換
	第3回	11月29日	ヒアリング先の決定、受講生インタビューについての検討
	第4回	2月6日	ヒアリングおよび受講生インタビュー結果についての共有と意見交換
情報収集		11月5日	労働政策フォーラム参加 女性のキャリア形成を考える —就業形態・継続就業をめぐる課題と展望—
情報収集		12月5日	女性のためのリカレント教育推進協議会 発足シンポジウム参加

プログラム実施者へのヒアリングおよび受講生インタビュー実施

- つぎの条件に合うプログラムを実施しており、ヒアリングと受講生インタビューを受け入れてくれる大学
 - ☑ 復職・再就職支援型のプログラムを実施している
 - ☑ 中長期プログラム（単発の講座やセミナーのみでない）実施している

実施日	ヒアリング先
2019年12月21日	福岡女子大学
2020年 1月20日	京都女子大学
2020年 1月24日	明治大学
2020年 1月29日	関西学院大学

ヒアリングを行った大学が実施している女性を対象としたリカレント教育課程一覧

大学名	プログラム名	URL
福岡女子大学	<ul style="list-style-type: none"> • 女性のためのウェルカムバック支援プログラム • イノベーション創出力をもった女性リーダー育成プログラム • 女性トップリーダー育成研修 	http://www.fwu.ac.jp/welcomeback/ http://www.fwu.ac.jp/manabi/ http://www.fwu.ac.jp/collaboration/women/joseitop/index.html
京都女子大学	京都女子大学リカレント教育課程	http://rccp.kyoto-wu.ac.jp/rccp/recurrent/
明治大学	女性のためのスマートキャリアプログラム <ul style="list-style-type: none"> • 昼間コース • 夜間・土曜主コース 	https://academy.meiji.jp/smartcareer/
関西学院大学	ハッピーキャリアプログラム <ul style="list-style-type: none"> • 女性の仕事復帰・起業コース • 女性リーダー育成コース • 大学連携オンラインコース 	https://kwansei-ac.jp/iba/happycareer/

大学における社会人のためのリカレント教育の背景

- ライフコースの多様化

ex. リンダ・グラットン／アンドリュー・スコット著

「ライフ・シフト -100年時代の人生戦略」

- 産業界の変化

- 大学の変容

- 女性活躍推進施策の展開

大学における女性のためのリカレント教育

職業実践力育成プログラム（BP：Brush up Program for professional）（注）に認定されている女性を対象としたリカレント教育プログラムにみる3つの類型

- 専門職育成型

保育、幼児教育、看護、助産師、管理栄養士など女性が就くことが多い職種ほか、専門人材育成を目指す

- 女性リーダー育成型

- 復職・再就職支援型 このタイプのプログラムを中心にヒアリング

注：BP：社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムとして文部科学大臣が認定

ヒアリング調査の報告 - 福岡女子大学 -

項目	内容
プログラム名	イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム
事業開始の経緯	文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」への応募を視野に開発
ターゲット	企業や団体、行政、NPOなどでリーダーとして働く女性及びリーダーを目指す女性、職場復帰や再就職を目指す女性
内容	モジュール1 リーダーシップを発揮するーコミュニケーションデザイン実践ー モジュール2 創造性を磨くーデザイン志向実践ー モジュール3 イノベーションを実践する 全10か月 6万円/モジュール 学歴不問 20人 書類選考および面接 履修証明
特徴	問題発見と解決力、チーム力を身につけることを目的とする 複数年の受講可 対面授業（土曜）とオンラインの組合せ 無料保育の提供あり 専門実践教育訓練給付金対象 人材開発支援助成金対象 BP認定講座 企業からの派遣による受講受入
受講生の評価	マシュマロチャレンジやレゴ®シリアスプレイ®などのビジネスゲーム手法がよい チームワーク中心で他業種交流、対話型がよい

ヒアリング調査の報告 - 京都女子大学 -

項目	内容
プログラム名	京都女子大学リカレント教育課程
事業開始の経緯	「大学連携京都府リカレントプログラム」として出発 現在は大学独自実施
ターゲット	学びたい、仕事がしたいと思いながら、最初の一歩を踏み出せずにいる女性
内容	基礎教養科目（学部授業科目 産学連携講座含む） キャリア形成科目（ライフ・キャリアデザイン、ビジネス実務スキル系科目） 全6か月 9.8万円 保育料2万円/月 大卒・短大卒 30人 書類選考および面接 履修証明
特徴	未来をひらく、働くための学びの場を提供することを目的とする 専門実践教育訓練給付金対象 BP認定講座 保育の提供あり（一部費用負担）
受講生の評価	ライフ・キャリアデザインで自分を見つめ、これからのキャリアを考えられたこと グループワークやディスカッションでの気づき、多様な経験を持つ仲間との出会い ビジネス実務スキルを学べた

ヒアリング調査の報告 - 明治大学 -

項目	内容
プログラム名	女性のためのスマートキャリアプログラム 昼間コース
事業開始の経緯	大学発の履修証明制度活用講座 リバティアカデミー（生涯学習拠点）のビジネスプログラムとして企画 厚生労働省「求職者向け大学委託訓練講座」受講生の8割が女性であることから女性向け再就職支援講座として開始
ターゲット	結婚、出産、育児等で離職し、職場復帰を目指す女性
内容	必修5科目 選択9科目 リバティアカデミーのビジネスプログラム講座、商学部の産学連携ワークショップ型授業の応用、専門職大学院教員担当科目の3種類から設定科目を選定 全6か月 12.8万円 大卒・短大卒 40人 書類選考および面接 履修証明
特徴	女性の多様な生き方を尊重した次のステップへの助走期間としての学び 複数年の受講可 専門実践教育訓練給付金対象 BP認定講座
受講生の評価	ブランド・マネジメントの授業での自己発見 女性経営者の話を聞くとここで自分のキャリアを見つめなおせた 受講生同士の出会い、グループワークで自分と向き合ったこと

ヒアリング調査の報告 - 関西学院大学 -

項目	内容
プログラム名	ハッピーキャリアプログラム 女性の仕事復帰・起業コース
事業開始の経緯	文部科学省「社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」委託を受けたこと
ターゲット	育休からの職場復帰を目指す女性、再就職・転職・キャリアアップを目指す女性、起業を目指す女性
内容	ビジネスベーシック（必修）、ハッピーサポート（選択必修） ビジネスプロフェッショナル（選択）、スペシャリスト（選択） 全6か月 必修＋ハッピーサポート9.9万円 10単位取得24.2万円 単位科目に受講料 設定あり 大卒 20人 書類選考および面接 履修証明
特徴	自分らしく働き、生きるための力を養成することが目的 専門実践教育訓練給付金対象 BP認定講座 大学連携によるオンラインコースを展開 クレオ大阪とはインターンシップ受入、広報等の協力関係あり
受講生の評価	キャリアデザインによる自己覚知、学びの目標の明確化 利害関係のない仲間と知り合えた、受講生同士で悩みを相談できる

受講生インタビューより

- 満足度は高く、学びへの意欲は高い
- インタビューで肯定的に言及されていた事項
 - グループワークやディスカッションの機会がたくさんあった
 - かけがえのない仲間と出会えた
 - 多様なバックグラウンドの受講生と交流できた
 - キャリアデザインで自分自身と向き合った
 - 「弱み」と思っていたものが「強み」でもあると気づけた
 - 講師や仲間からのコメントで励まされ、勇気を得られた

プログラム実施者ヒアリングより

- 国もしくは自治体の事業が事業開始のきっかけとなっている
- 大学の地域連携センター等が実施を担っている
- 講師等は、学内・学外両方の人材が担っている
- 企業、潜在的受講者への認知度向上が課題とされている
- 採算面での課題への対応
 - ⇒ 保育ニーズへの対応
 - ⇒ 大都市圏以外への展開としての大学連携オンラインコース
- 再就職支援型希望者は減少傾向、リーダー育成型希望者は増加傾向
- 現状では男女共同参画センターとの接点はほとんどない

まとめ

- 女性にとって多様な学びのチャンネルが増えることは重要
- 再就職支援型のプログラムでは、再就職や収入向上のみが目指されていない
- 現在の求人状況では、学びを経なくても就職できるため、再就職支援型希望者へのより一層の訴求は難しさがあるのではないか
- 育児休業中の女性をターゲットとしてより明確に打ち出す方向も考えられる
- 少人数制・グループワークによるグループダイナミクスの活用、仲間とのつながり意識の醸成、自己覚知等は、男女共同参画センターにおける就業支援でベースとしてきたもの
- プログラム中、性別役割分業等の問題を取り上げているという例は少ない模様
- 職場や家庭での性別役割分業等をテーマとした講義を地域の男女共同参画センターや全国女性会館協議会の「寄付講座」として、協力することも考えられる